

音階と和音、音型の練習の注意事項



四分音符=80程度の早さを基本として十分に響かせることを心がけてください。
2小節ごとのプレス間隔で、8分音符の長さで息をとるように。



高音域をなめらかにつなぐ練習ですので、スラーで音のかわりめに雑音が入らないように注意してください。



最初はテヌート、繰り返し時にはスラーをつけて。息圧を注意してオクターブが低くならないように注意してください。



最初はテヌート、繰り返し時にはスラーをつけて。



指のテクニックをつける練習です。十分にスピードが出るように。
ただし、音がとぎれてしまっはけません。



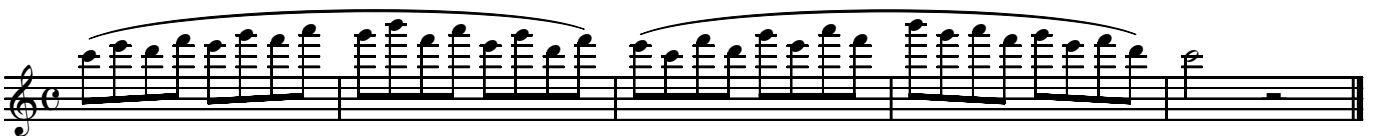
長調の時と同じ注意をしてください。



長調の時と同じ注意をしてください。



長調の時と同じ注意をしてください。



これらは一見すると3度音程と6度音程の練習に見えますが、
注意してみるとこの二つでオクターブ内のすべての音程の組み合わせが出てくることに気がつくでしょう。

